

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 中根生弥
 編集人 武山純也

No.449 目次

- ◆2019年度定時総会開催報告 …… (2)
- ◆第19回愛知県医学検査学会を終えて … (3)
- ◆地区だより …… (6)
- ◆一般検査研究班 基礎講座Ⅰに参加して… (7)
- ◆2019年度日臨技
中部圏支部輸血細胞治療部門研修会… (7)
- ◆2019春日井市健康救急フェスティバル… (7)
- ◆基礎講座・研究会 …… (8)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第62回) …… (10)

組織部の活動について

組織部長 刑部 恵介

2018・2019年度の公益社団法人愛知県臨床検査技師会の組織部長を仰せつかりました藤田医科大学の刑部です。愛臨技組織部は渉外部門の傘下であり、担当副会長、部長、担当理事6名、組織部員10名で構成され、愛臨技定款において定められております『県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業』並びに『会員並びに賛助会員向けの事業』などを中心とした様々な活動の企画・立案や実務サポートを行っています。

『県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発を行う事業』として世界禁煙デー、春日井市健康救急フェスティバルなどへの参加、日本臨床衛生検査技師会が企画する全国『検査と健康展』の開催、さらに年間を通じて月に2回のHIV抗体検査ボランティアを行っています。また、『会員並びに賛助会員向けの事業』として新人を対象としたフレッシュセミナー、会員全員を対象としたニューイヤーパーティー、初級職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会および愛知県臨床検査技師長協議会との共催で行う管理運営研修会の開催を行っています。

今年度の事業としてはこれまでに4月21日にフレッシュセミナー2019の開催、5月31日には名古屋栄にて開催された「禁煙週間」および「歯と口の健康週間」における街頭キャンペーンに参加しました。

今後の事業としては、9月1日に春日井市健康救急フェスティバルへ組織部員とボランティアの方々と参加します。11月17日にはイオン熱田にて『検査と健康展』が計画されており、9月にはボランティア募集がありますので、興味のある方はぜひご登録ください。1月17日にニューイヤーパーティー2020、その他管理運営研修会や初級職能開発講習会・都道府県ニューリーダー育成講習会などが企画されています。

以上のように組織部は様々な活動を通じて、臨床検査技師の職能団体として組織の拡充を図り、個々の会員増強運動を展開して組織強化に貢献していきます。

各活動には会員の皆様のご協力が必須です。これらの事業の案内は“らぼニュース”に随時掲載されますので、興味のある方はぜひ御登録ください。

愛臨技と共に“臨床検査技師”として県民の健康増進、“臨床検査技師”の認知度アップを！！

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 2019年度定時総会開催報告

庶務部長 夏日久美子

去る令和元年6月16日(日)午前10時より、TKP名駅桜通口カンファレンスセンター ホール3Eにおきまして、公益社団法人愛知県臨床検査技師会2019年度定時総会を開催いたしました。

はじめに中根会長より、昨年度の各地の災害を振り返り、日臨技と連動して災害対策に対応していくこと、2018年度事業についてご審議をいただくこと、などについての挨拶がありました。

次いで議長に尾崎文彦氏(トヨタ記念病院)が選出され、総会運営規程に基づき書記、資格審査委員兼議事運営委員、議事録署名人が選出されました。資格審査委員長から正会員数3,410名(過半数1,705名)のところ出席者数171名、委任状出席2,373名の合計2,544名の出席があり、総会が成立していることが宣言され議案審議へと進みました。審議事項として、第1号議案「2018年度事業報告」、第2号議案「2018年度決算報告」、第3号議案「2018年度監査報告」の各議案はともに賛成多数で承認されました。報告事項として、「2019年度事業計画」、「2019年度収支予算」についての報告が行われました。また、会員より、技師会活動についてのご意見やご要望が挙げられ、会長より回答がありました。

総会に引き続き、愛知県健康福祉部保健医療局長の吉田 宏 氏(代読:健康福祉部保健医療局生活衛生課主幹 伊藤泰高氏)を来賓としてお迎えしてご挨拶をいただいた後、第18回愛知県医学検査学会学術奨励賞、永年職務精励者の表彰式が執り行われました。学術奨励賞は3名、永年職務精励者表彰は75名が受賞されました。おめでとうございます。

会員の皆様には多数お集まりいただき、大変ありがとうございました。



永年職務精励者



学術奨励賞受賞者

第19回 愛知県医学検査学会を終えて

実行委員 丹羽 玲子、北村 勇、小木曾美紀、柴田 典子、大矢 健一、大野 智子、南里 隆憲、大塚 みわ、塚本実奈子、平田 基裕、今井 正人

令和元年7月7日（日）、尾張東地区担当として、第19回愛知県医学検査学会を名古屋市名東区のサンプラザシーズンズにおいて開催いたしました。元号が令和になった最初の学会は、メインテーマを「活躍のフィールドを広げよう」、サブテーマを「医療への多様な貢献」としました。これからの臨床検査技師は、検査技術の研鑽のみならず、医療貢献のため、活躍の場を広げ、積極的に参画していくことが必然となります。本学会は、その流れの中で、私たちのフィールドをどのように広げるか、どのようなことが出来るか、またそのために必要な知識は何かを考える機会としました。そのための企画を多数準備し、シンポジウムでは、テーマを「未来に向かって羽ばたこう」として、協働業務の取り組み、新たな業務への挑戦を4名のシンポジストの方に講演頂きました。また尾張東セレクションと題して、若手からベテラン技師まで新たな知識を得られるよう、外部評価、最先端検査の紹介、プロから学ぶレベルアップのための講座、超音波診断装置や顕微鏡で実際の標本を検鏡する体験型企画や、検査結果から読み解き診断へ繋ぐ方法を学ぶRCPC企画を準備しました。

学会前日より梅雨前線の影響もあり天候が非常に懸念されましたが、開会の2時間前より雨は止み、晴天に恵まれました。そして会員・賛助会員の皆様の多大なるご協力のおかげで758名と多くの方にご参加いただき、無事終了することが出来ました。

<一般演題>

49演題の一般演題をいただき4会場にて、症例報告、業務改善、研究成果の発表が行われ、活発な質疑応答がされました。どの会場も盛況で、立ち見が出るほどの会場もあり、熱気に包まれていました。チーム医療・管理のセッションでは、自施設での参考にしようと活発な質疑応答がされており、関心の高さが伺われました。また多くの若手技師の方々が堂々と発表され、質疑応答に対応されている姿には、これからの未来を担う臨床検査技師として、とても頼もしく感銘を受けました。



<シンポジウム>

「未来に向かって羽ばたこう」と題して4名のシンポジストより、消化器内視鏡技師としての業務、ICT/ASTでの役割、血液センターでの業務、検査技師が目指す認定資格についてご講演いただき、ディスカッションを行いました。これからの医療は、チーム・他職種協働で行っていく必要があり、臨床検査技師の活躍の場は、計り知れない可能性を秘めています。私たち臨床検査技師は、より一層積極的に関わり、役割を担っていかねなければならないこと、またそれが実現可能であることをシンポジウムで確信しました。



<ランチオンセミナー>

5会場に分かれて採血業務における基礎的な注意点、心臓手術時の血液製剤、災害医療のあり方、愛知県標準化協議会の最新ガイドライン、日常業務から考える研究についてご講演をいただきました。

<公開講演>

愛知医科大学研究創出支援センター 特務教授 吉川和宏先生をお迎えし、「がんの免疫学的治療法の最新動向と今後の展開について」ご講演いただきました。がんの成り立ちから、生体の免疫防御機構、最新の免疫学的治療法と今後の治療の展望についてとてもわかりやすく解説いただきました。そして臨床検査技師である吉川先生より、検査技師もがん研究の最先端で活躍できるということを教えていただきました。



<尾張東セレクション>

担当地区企画として、外部評価のISO15189・JCI・I&Aを受審された各施設の取り組みについて知る、最先端の話題としてゲノム診断（遺伝子パネル検査）に必要な検体取扱い・微生物の質量分析や遺伝子検査について学ぶ、プロから学ぶ検体検査、エコーお悩み相談室、標本を顕鏡し症例を考える、そしてRCPCと6つの企画を用意しました。



体験型企画では、ホワイエに顕微鏡を20台設置し、細菌・血液・一般・細胞診の標本を自由に顕鏡した上で、どのような症例が考えられるかチャレンジしていただきました。エコーお悩み相談室では、画像の出し方のポイントをライブ映像で示すことで、よりわかりやすかった、今後の参考になると好評でした。各企画とも多数のご参加を得て、皆様から大変ご好評をいただきました。

今後の参考になると好評でした。各企画とも多数

<機器展示>

21社と多くの企業にご参加いただきました。展示会場の2会場ともに多くの方が来場されており、各ブースどれも活気があり、最新の検査機器、情報を得られる機会を設けることができました。



<祝賀会・懇親会>

学会終了後は、愛臨技主催の祝賀会・懇親会が開かれ、会員および賛助会員さらに講師の方々合わせて総勢198名と多くの方にご参加いただき盛会となりました。屋外でビールを飲んでいる方々、食事を楽しまれている方々など、ご参加いただいた方には、くつろぎ楽しんでい

ただける会となりました。また地区企画の豪華景品、尾張東地区特産品が当たる大くじ引き大会では、大いに盛り上がりました。

最後になりましたが、本学会開催にあたりランチョンセミナーのご共催、展示、広告などご協賛いただきました賛助会員の皆様、そして中根会長はじめ理事の方々および学会企画運営に携わっていただいた実務委員の皆様へ実行委員一同、心より御礼申し上げます。



第19回愛知県医学検査学会に参加して

日進おりど病院 鈴木 美優

令和元年7月7日（日）の第19回愛知県検査学会にて実務委員として参加しました。私は、座長受付を担当しました。初めての实務委員で、とても緊張しましたが、何とか役割を果たすことができました。実務委員を通じて、仕事を円滑に進めるためには、担当の業務を行うことだけでなく、仲間と協力して自分に何ができるかを考え行動する必要があることを学びました。また、同じ実務委員の方とも親しくなり、施設間同士で横の繋がりの大切さを知ることができました。そして担当時間の合間には一般演題、

尾張東セレクション、ランチョンセミナーを聴講しました。一般演題では、スライドの見せ方、発表方法、質問への的確な対応を見て、自分自身も学会発表に挑戦したいと思いました。尾張東セレクションⅢの「プロから学ぼう…検体検査」では、検査を進めていく上で知っておくべきポイントをわかりやすく説明いただきました。今後の業務に活かしていきたいと思います。最後にこのような機会を与えてくださった上司の方々、第19回愛知県医学検査学会実行委員の皆様へ厚く御礼申し上げます。



今年ラグビーW杯、来年は東京オリンピックとスポーツ好きには堪らない大会が続きますが、尾張南地区の瑞穂公園内にはスポーツ競技場のメッカ、瑞穂運動場があります。代表格の陸上競技場を中心に野球場、ラグビー場、テニスコート、弓道・アーチェリー場、相撲場などが25haの広大な敷地内に存在します。2015年からは地元のパロマ社が命名権を取得し、呼称にはパロマを付けて呼んでいます。

陸上競技場はコンディションがすばらしく2016年日本陸上競技選手権女子200mで福島千里さんが日本新記録を樹立しています。その時のサインやサッカーJリーグ名古屋グランパス優勝監督ピクシーことストイコビッチさんのサインが書かれた壁は旗の後ろに隠され大切に保管されています。陸上競技場の正面には大河ドラマ「いだてん」にも登場し、現在のマラソンにも影響を与えた日比野寛氏の銅像があります。

野球場は愛知六大学野球が春と秋の週末に開催され、中日ドラゴンズ岩瀬仁紀さんをはじめプロ野球選手を沢山輩出しています。

ラグビー場と称す正式なラグビー場は全国に4つしかなく、その一つが瑞穂ラグビー場です。日本のトップリーグや全国大学ラグビー選手権等も開催され、今年の秋のW杯以降はたいへんな盛り上がりになるでしょう。



水泳プールは「前畑がんばれ」で有名な兵藤（旧姓前畑）秀子さんが晩年指導者として活躍され、現在は笠寺（同じ尾張南地区）のレインボーホール（日本ガイシホール）にその熱意が受け継がれています。ちなみにここではスケートの大会も開催され羽生結弦さんも訪れています。

各地に総合運動公園は沢山ありますが規模もレベルも世界クラスと群を抜いています。2026年にはアジア大会のメイン会場に決定しており既に準備が始まっています。

公園内にはスポーツ施設以外にも古墳や貝塚があり、大曲遺跡は犬を抱いた人骨が珍しいということで全国に有名で、実物は隣の名古屋市博物館に保管されています。

園内を流れる山崎川は桜名所としても親しまれ、周辺は1万歩コースの散策コースとなっています。2020年県学会担当の魅力ある尾張南地区へ足をお運び下さい。



一般検査研究班 基礎講座 I に参加して

豊田厚生病院 臨床検査技術科 寺坂 明香

6月30日に行われた「一般検査研究班 基礎講座 I」に参加させていただきました。尿沈渣について学び始めてから1ヶ月ほどの私にとって、尿沈渣の基礎を学ぶとても重要な機会となりました。

「赤血球・白血球の見方」では、非糸球体型赤血球と糸球体型赤血球の見分け方、白血球の形態及び鑑別を必要とする成分について学ぶことができました。特に、日常で尿沈渣を読んでいる際の疑問点であった白血球（好中球）と扁平上皮細胞の裸核の見分け方、糸球体型赤血球の鑑別のポイントについて詳しく知ることができました。

「上皮細胞の見方」「円柱類の見方」では、一部スライドを用いたクイズ形式であったため、学んだことを活用して一緒に考えながら講義を聞くことができました。「結晶その他の見方」では、結晶の形態のみでの鑑別が困難な場合は、化学的性状を利用して溶解する・尿のpHを確認する・背景をよく観察するなど、他の情報にも注目することが重要だと学びました。「尿沈渣ハンズオンセミナー」では、実際に顕微鏡を用い、これまで聴講してきた事柄をふまえた上での鑑別のポイントについて教えていただきました。実際の標本ではスライドの写真とは違い、細胞同士が重なり合っていたり、細胞やその他の成分が多量に出現していたりと鑑別が難しいと感じていました。しかし、今回の講義で聴講した基本的なポイントさえしっかり押さえれば鑑別が可能だと改めて学ぶことができました。さらに、尿沈渣の知識のみではなく、顕微鏡の操作方法や、標本の見方の手順など技術的な面でも新たな知識を得ることができました。

今回の講座を通して、尿沈渣成分の見方について学ぶと共に、尿定性の結果のみには注目するのではなく生化学等の他のデータにも注目し、患者さんがどういった状態であるのか、身体の中で何が起きているかなど総合的に判断することが重要だと学ぶことができました。講義で学んだことを活かして今後の業務のさらなる質の向上に貢献できるよう、努力していきたいと考えます。

2019年度日臨技 中部圏支部輸血細胞治療部門研修会

【テーマ】井の中の蛙が、柳の枝に捕まって見えた世界

【日時】2019年11月2日(土)～3日(日)

【場所】三重大学医学部附属病院ほか

【定員】40人(予定)

【受講料】会員10,000円非会員15,000円

【申し込み方法】日臨技HPから申し込んでください。

【申し込み期間】2019年7月16日～8月30日まで
(先着順) 予定

【交通・宿泊】各自で手配してください。

※プログラム等、詳細は愛知県臨床検査技師会HP
をご確認ください。

2019春日井市健康救急フェスティバル

愛知県臨床検査技師会は、春日井市において開催されます2019健康救急フェスティバルに今年も参加することを決定いたしました。本フェスティバルは毎年20以上の団体が参加し、盛大に行われる催しです。みなさまも是非足をお運びください。

記

日時：2019年9月1日(日)
10時30分～14時30分

会場：春日井市総合体育館

参加内容：子供向け体験ブース「採血体験」(予定)

以上

基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年10月20日(日) 10:00～16:00

場所：リップルスクエア

名古屋市東区東桜1-1-10

アーバンネット名古屋ビル20F

テーマ：難しくない！精度管理の基礎～実践

講義：1. 内部精度管理について
2. 精度管理に関する用語について
3. 外部精度管理について

実習：1. SD、CVを計算してみよう
2. x-R管理図を書いてみよう

講師：シスメックス株式会社

検査室品質管理支援課 高柳 稔
愛知医科大学病院 森部 龍一
名古屋掖済会病院 岡本 明紘
JA愛知厚生連江南厚生病院 林 克彦

司会：JA愛知厚生連江南厚生病院 林 克彦

内容：精度管理の歴史・用語・考え方などを幅広く解り易く取り上げます。x-R管理図の実習を含めた内部精度管理の実際について、また、外部精度管理では、愛臨技精度管理担当者による「良い評価をとるためのポイント」などをお話します。「新人でも理解し易い！」「ベテランも再確認！」がコンセプトです。多数の参加をお待ちしております。

申込方法：日臨技ホームページ会員メニューの「事前参加申込」から行事を選択し、参加登録を行ってください。備考欄には生化学免疫検査経験年数を記載してください。非会員の場合は備考欄にてお知らせください

申込期限：2019年8月1日(木)～10月7日(月)
但し、定員になり次第締切りとさせていただきます。

定員：40名

参加費：愛臨技会員 2,000円

他県技師会員 2,500円

非会員 4,000円

問合せ先：f.sato@GoodLD.com

株式会社 グッドライフデザイン

佐藤 文明

*昼食は各自でご用意下さい。

*受付完了後、開催前までに 当日の準備などを受領メールとしてお知らせいたします。

*受領メールが届かない場合は、「問い合わせ先」のアドレスへメールでご連絡ください。

基礎講座

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年11月3日(日) 9:30～16:00

場所：藤田医科大学 3号館1階101(旧：生涯教育研修センター2号館・受付、講演)及び10号館3階301(旧：基礎科学実験センター・実習)

テーマ：尿沈渣・髄液検査について(認定一般検査技師日臨技認定センター承認研修会申請予定)

I. 講演

1) 尿沈渣の異型細胞の見方

JA愛知厚生連 稲沢厚生病院

蜂須賀大輔

2) 髄液検査について

医療法人深谷会 富士病院

包原 久志

II. 実習

尿沈渣検鏡実習(基礎成分)

髄液検査・尿沈渣(応用)

申込方法：日臨技ホームページの会員専用ページからログインして事前参加登録を行ってください。(URL: www.jamt.or.jp/index.php)

HPから事前登録が困難な方は必要事項をご記入の上、メールにてお申込みください。

申込・問合せアドレス：

ippannaichi@yahoo.co.jp

《必要事項》①所属県名 ②会員番号 ③漢字氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥一般経験年数 ⑦施設名 ⑧所属部署 ⑨施設住所 ⑩電話番号 ⑪メールアドレス ⑫連絡先住所

連絡先：藤田医科大学病院 臨床検査部

長瀧 和子

〒471-1192

豊明市杓掛町田楽ヶ窪1番地98

TEL: 0562-93-2300

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第62回)

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、リーフレット「心電図検査」についてご紹介いたします。

心電図検査を行う時や医療従事者などに説明する時、検査時の注意点や報告や判読のポイントについて、正常心電図とともに、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

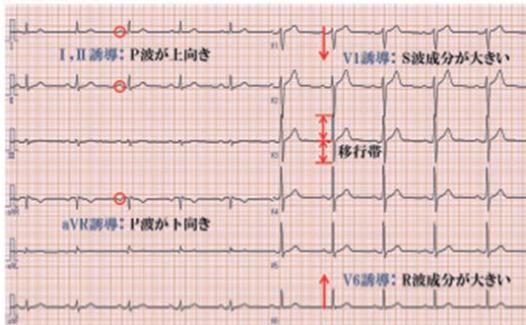
詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS : 愛知県臨床検査標準化協議会)

心電図検査②

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
Jouflet "心電図検査"

I. 正常心電図



* 正常例であっても、下記にあてはまらない場合があります。

I・II誘導のP波は陽性(上向き)

aVR誘導のP波は陰性(下向き)

電気が近づくと同様に、遠ざかると陰性になります。正常例のほとんどの場合で、左足からみるII誘導は陽性になり、右手からみるaVR誘導は陰性になります。

V1誘導はS波成分が大きい

V6誘導はR波成分が大きい

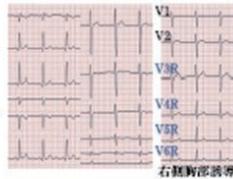
V3・V4誘導あたりに、R波とS波の振幅が等しくなる「移行帯」があります。

○肢誘導の付け間違えに類似する心電図(右胸心)

I・II誘導のP波は陰性、aVR誘導のP波は陽性となり、右手と左手を付け間違えたように記録されます。

V1~V6に従い振幅が小さくなるように記録されるので、右胸側誘導(V3R~V6R)を追加記録して確認します。

* 報告形式は施設により異なります。

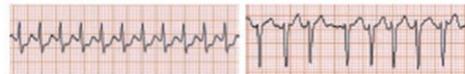


右胸側誘導

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

IV. 報告のポイント

1. 脈が遅くないか 病性頻脈、上室性頻拍、心房頻拍、心房細動など



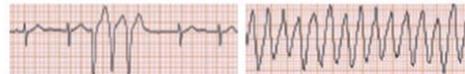
脈が遅くなると動悸を感じます。脈拍数が160以上になると血圧が下がり、吐き気や冷汗、意識が遠くなるなどの症状が出ます。

2. 脈が遅くないか 病性徐脈、房室ブロック、洞不全症候群など



脈が遅くなり途切れたりすると、めまいがしたり失神をおこしたりします。重度の場合は、ペースメーカー治療が必要になることがあります。

3. 期外収縮がないか 心室性期外収縮(連発・多源性)、心房頻拍



脈が飛ぶ感じや、胸部の不快感として感じます。健常者でもアルコール多飲、睡眠不足、疲労、ストレスなどで誘発されます。重症度が問題となるのは心室性であり、持続する頻拍は心房細動に移行する可能性があるため、不整脈を停止させる必要があります。

4. ST変化がないか 虚血性変化(心筋梗塞・狭心症)など



心筋虚血によるST変化は、最も重要な所見です。心筋梗塞(ST上昇)では胸痛が持続し、命に関わるため直ちに治療が必要です。

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization